

## 教育委員会（4月定例会）会議録

- 1 開催期日 平成29年4月4日（水） 13時30分 開会
  - 2 場 所 中央公民館第3研修室
  - 3 本日の会議に出席した委員の氏名は次のとおりである。
    - ・ 教育長 宮内 浩二郎
    - ・ 委員 黒木 敏行
    - ・ 委員 今村 博美
    - ・ 委員 屋敷 和久
    - ・ 委員 今村 一枝
  - 4 本日の会議に説明等のために出席した職員の氏名は次のとおりである。
    - ・ 教育課長 渡具知 実
    - ・ 教育課長補佐 恒吉 正昭、山田 正人、西山 雄治
    - ・ 教育課職員 原田 誠、戸高 志織（記録）
  - 5 前回の会議録の承認 屋敷和久委員（3月臨時会）
  - 6 会議録署名委員の氏名 今村一枝委員
  - 7 行事報告 3月行事
  - 8 本日の会議に付議した事項は次のとおりである。
    - （可）・否・続・同） 議案第1号 平成29年度三股町教育基本方針・教育施策の決定について
    - （可）・否・続・同） 議案第2号 三股町スクールバス管理規則の制定について
    - （可）・否・続・同） 議案第3号 社会教育委員の委嘱について
    - （可）・否・続・同） 議案第4号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- ★ 委員協議会
- ① 平成29年度教育委員会による学校訪問について
- ★ 報告
- ① 平成29年度調整区利用者及び小規模特認校制度利用者【新規】について
  - ② 小・中学校卒業生の進路状況について
  - ③ 生徒指導の状況について
  - ④ 3月議会報告
- ★ その他
- ① 入学式について
  - ② 教育委員会歓送迎会及び都城支会校長会歓迎会について
  - ③ 各小学校卒業式について
- 9 行事予定 4月行事
  - 10 閉 会
    - ・ 次回定例会 期日：平成29年5月1日（月） 13時30分～15時
    - 場所：中央公民館第3研修室

教育長	<p>あいさつ</p> <p>4月1日に辞令交付を8回行った。教職員着任式後には早速、新規採用教員は、初任者研修を行ったところである。</p> <p>教育委員会においては、建築関係の技師の配属になり、1名増となった。今年度は、文化会館北側の修繕、勝岡小学校の校舎問題、勤労者体育センター等、大規模な建築修繕を行うことになる。そのためにも、技師の配属は非常にありがたいことである。学校教育係の配属ではあるが、教育関係施設全般をみてもらうことになる。</p>
教育長 屋敷委員	<p>前回の会議録の承認を屋敷和久委員へ承認する</p>
教育長	<p>次回会議録署名委員に今村一枝委員を指名する</p>
渡具知	<p>【行事報告】</p> <p>3月行事について資料に基づき報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3日 スポーツ少年団解団式 約300名参加</li> <li>・ 同日 町PTA教育問題懇話会 ほめ達(ほめる達人協会) 小澤充寛氏の講演</li> <li>・ 4日 壮年・女団連合同研修会 堀之内氏の講演</li> <li>・ 同日 町内史跡巡り 参加者34名 梶山城では、梶山小の児童がガイドを務めた。</li> <li>・ 9日 新入学児童防犯ブザー贈呈式 県生コンクリート協会より寄贈</li> <li>・ 同日 臨時教育委員会</li> <li>・ 10日 桂よね吉講演会 昼間 中学生225名 夜：一般公開 100名</li> <li>・ 14日 さつき学園終了式</li> <li>・ 15日 適応指導教室卒業式 3名</li> <li>・ 16日 中学校卒業式</li> <li>・ 17日 宮村小学校放課後子ども教室閉講式 21名 教室の子どもたちが、寺柱番所について紙芝居を作成し、披露した。</li> <li>・ 23日 小学校卒業式</li> <li>・ 26日 みまた座本公演 13期生11名にOB等も参加 昼間：110名、夜間：113名の来客</li> <li>・ 27日 都城支会校長会送別会</li> <li>・ 28日 給食会理事会・総会</li> </ul>
教育長	<p>行事内容について質問等を求める。</p>
今村博美委員 山田	<p>史跡巡りの反応を知りたい。</p> <p>梶山城での子どもたちの発表はとても好評だった。今後も継続していきたいと考えている。宮村小放課後子ども教室でも、子どもたちが、寺柱番所について紙芝居を作成し、披露した。放課後子ども教室の中で、「地域を知る」という目的がある。それに基づき、この紙芝居を作成した。</p>
今村博美委員 教育長 渡具知 今村博美委員 教育長 山田	<p>地元の子どもたちであっても、「地域」のことを知らない。</p> <p>史跡巡りは、非常に反響が大きかった。30名定員でそれを超える申込みがあった。当初、定員を20名としていたところを増員した。</p> <p>史跡があることは知っているが、所以等を知らない。梶山城は昨年度、社会教育委員との合同研修で見学をしたことも良かった。</p> <p>現在、三股町社会福祉協議会と三股町福祉課では、史跡を巡るウォーキングコースマップを作成中とのことである。</p>
今村一枝委員 戸高	<p>適応指導教室の卒業式の様子を知りたい。</p> <p>昨年度3年生が3名、2年生が2名、1年生が1名在籍していた。2年生が前日から準</p>

教育長 今村一枝委員 戸高	<p>備をし、卒業式には、式次第に則り、執り行った。室長である教育長より、各人が適応指導教室で過ごした際のエピソードを交えた卒業証書を授与された。</p> <p>卒業生を前列に、後ろに2年生が着席、適応指導教室以外の指導員にも出席し、8名で卒業式を行った。卒業生のうち1名は欠席だったため、2名に卒業証書を渡した。</p> <p>中学校の教員等は来なかったのか。</p> <p>卒業式の前日ということもあり、管理職等の出席はなかったが、学習指導等支援教員が出席された。また、昨年度まで三股中学校の養護教諭だった、山崎美智代教諭より、サプライズで祝電が届いた。子どもたちはとても嬉しそうな表情をしていた。</p>
教育長	<p>【付議事項】</p> <p>議案第1号 「平成29年度三股町教育基本方針・教育施策の決定について」</p> <p>大きくは変わっていないが、本町の教育基本方針では、後段部分を削除した。また、共通実践事項については語尾を変えている。それぞれの係での変更があれば、各係より説明を求める。</p>
渡具知	<p>学校教育係に関するものについて、資料に基づき説明</p> <p>「就学指導」を「教育支援」とする。国・県の動向に合わせて、本町でも先月の定例会で規則の変更を行ったことにも依る。また、「文教みまたの伝統教育の充実」に関しては、「三股町教育の日」の「啓発」とした。次に、体育・健康教育については、「薬物防止」から「薬物乱用防止」と文言の訂正を行い、幼保小中連携の促進については、幼保小連携・接続推進事業を実施する。県の補助事業を受ける形で行い、先進地視察や講師招聘、スタートカリキュラム・アプローチプログラムの見直しを行う。小1プロブレムの防止を図り、スムーズな入学、学校への適応を目指すものである。</p>
教育長	<p>幼保小連携・接続推進事業については、今年度、平成30年度の2ヶ年の県の新規事業となる。昨年度のような研究公開とまではいかないが、県の委託事業として取り組んでいく。</p>
山田	<p>生涯学習係に関するものでは、ICT について説明する。ICT については、生涯学習係として特化した取り組みは行っていないことから、今回削除した。公民館における ICT の充実については、防災無線等で総務課が取り組んでおり、教育課では行っていないのが実情であることから削除した。施設整備については、自治公民館等コミュニティー施設の整備とした。次に、文化資源の保護と活用については、昨年度は町史資料収集としていたが、今年度は、「三股町史の編さん」とした。</p>
教育長	<p>「町史」が一番の事業になるものと考えている。次、スポーツ振興について、担当より説明を求める。</p>
西山 教育長	<p>スポーツ振興については、昨年度との変更はない。</p> <p>「パノラマまらそん」については、これまで2回開催し、今年度は、よりスムーズに開催できるものと思う。次の「人権教育」についても、特に変更点はない。人権の花の運動については、昨年度、宮村小学校及び三股西小学校で実施した。</p> <p>以上、説明を行ったが、教育方針及び施策について質問等を求める。</p>
黒木委員 戸高	<p>「幼保小」について、詳しく知りたい。</p> <p>本町では、平成26年度に幼保小連携推進協議会を立ち上げ、平成27年度には中学校を交えた幼保小中連携推進協議会とした。その中で、平成27年度にスタートカリキュラム・アプローチプログラムを作成した。今年度は、県の委託事業として取り組み、より充実したものへと見直しを行っていききたい。そして、平成30年度には冊子とし、本町ならではの取り組みとしていききたい。児童生徒憲章について、幼保の児童にも取り組むことができる内容について、取り組んでもらい、小学校入学後に戸惑うことのないようにしていきたい。また、文部科学省より、視学官を招聘して、スムーズな就学・移行</p>

	<p>について講演会を開催し、さらに先進地視察も行う予定である。</p>
黒木委員	<p>次に、教育研究所についてであるが、先日の研究所だよりで、今村一枝委員も載せていたが、町民が、教育研究所のことを知らないのが現状であろう。三股の地で、教育のことを研究している所があることを地域、町民に知らせるべきであり、もっとPRしていくべきである。昨年度は研究公開を行い、学校に開かれた教育研究所となったが、これからは、地域に開かれた教育研究所であるべきである。</p> <p>『未来を創る 心豊かで活気あふれる 文教三股の人づくり』というスローガンがあることで、「人づくり」は子どもだけでなく、「大人」も入ることを知らせたい。社会教育の中に浸透していてもよい。「文教三股の大人像とは」ということをテーマに研修していくことも重要である。スポーツにおいても、「文教三股」を意識付けていくことが必要であり、意識付けすることで、もっと工夫できることもあるはずである。</p>
教育長	<p>教育研究所の広報活動については、良い視点をいただいた。広報等を活用することも検討したい。</p>
今村博美委員 教育長	<p>特集でなくても良い。シリーズ化していくことのほうが良いと思う。</p> <p>今年度は、タブレットを導入するにあたり、研究所の取り組みを紹介していくことも必要であると考えます。</p>
渡具知 今村博美委員 黒木委員	<p>ICTについては、大きな転換期であると考えます。広報紙の活用を検討したい。</p> <p>広報紙は見ない人もいます。</p> <p>教育研究所研究会の場に、町民や地域の人を入れるという方法もあるのではないかと。 「文教三股」の発信は、「教育研究所」が行うのが良いのではないかと。毎週教員が時間外に集まって、研究する所は他にはない。三股町ならではのものである。</p>
今村博美委員	<p>各地域の壮年が核になっている。壮年の人たちが、見学に来るなり、子育ての終わった人たちが若い保護者へ伝達していくことも必要である。</p>
教育長	<p>町長がいろいろな場で話をされる中で、3つのキーワードがある。それが「花と緑と水の町」「文教三股」そして「アスリートタウン」である。この3つのキーワードのうち2つは教育に関するものである。これは、教育委員会だけで取り組むのではなく、町長部局も取り組むべきことであると考えている。町長部局でもいろいろなパンフレット等を作成する。その際に、教育委員会のスローガンを入れることも必要であり、町民が意識できるようにしていくことも重要であると考えている。</p>
黒木委員	<p>「文教みまたの教育の手引き」があるが、このようなものができればよい。この手引きには、子どもの行動面を主に載せている。しかし、まだ他にも学習面等についても記載できるはずである。そして、子どものことばかりではなく、この「手引き」が「大人」へとつながり、「文教の町三股」となるものと思う。</p>
屋敷委員	<p>そのためには、「三股町」が「町全体」をどうしていきたいのかを検討し、アピールしていくことが必要であると考えます。私事にはなるが、この度、「ソダツバヒカリ」と言う冊子を作成した。ひかりの森こども園の取り組みを広く知っていただきたいという思いから作成した。町民などに関心を持ってもらうためには、PRをしていく必要があり、何を知らせたいのかを明確にしていくことが重要である。</p>
教育長 屋敷委員	<p>「育つ場」の「場」は何も教育だけではない。</p> <p>もっと多くの人々の声を聞くべきであり、町民の中にも「こうしたい」「こんな考え方もある」といった意見、アイデアを持っている人はたくさんいる。多くの人々の声を聞き、トータルで考えていくことが必要だ。</p>
今村博美委員	<p>地域の人たちは、光明寺のある地域の子どもたちを「寺ん子」と言い、寺子屋のような雰囲気のある地区である。周りの人たちに相談できる「場」である。この「ソダツバ」というように、一瞬考えさせられるキーワードがあっても良いのではないかと。</p>
屋敷委員	<p>私の周りにも、何かやりたいという気持ちを持っている人が大勢いる。そのような人たちと一緒に考えることで、もっとできることがあるのではないかと考えている。</p>
教育長	<p>光明寺では、「こども食堂」を始めてくださった。今回のみまた座の本公演では、こども食堂を舞台に話を展開していった。福祉分野で行っている「サロン」でも、こども食</p>

<p>教育長 戸高 教育長 各委員</p>	<p>堂を開くことは可能なのではないかと考えている。サロンには高齢者だけ、というのではなく、その場に子どもが加われば、それが「こども食堂」になるはずである。子どもの貧困対策ばかりではなく、もっといろいろな視点での取り組みが必要であると考えている。</p> <p>議案第2号 「三股町スクールバス管理規則の制定について」の説明を求める。 資料に基づき説明。 議案第2号について承認を求める。 承認する。</p>
<p>教育長 山田  教育長 各委員</p>	<p>議案第3号 「社会教育委員の委嘱について」の説明を求める。 資料に基づき説明。今回は、委員の年齢的な偏りが無いこと、また町内の地域を隈なく網羅できるようにし、7名を委嘱したい。委嘱期間の2年間で、教育委員会からの諮問を受ける等、それらの内容について検討してもらいたいと考えている。それぞれの立場での意見をいただきたいと考えているところである。 議案第3号について承認を求める。 承認する。</p>
<p>教育長 渡具知 教育長 各委員</p>	<p>議案第4号 「要保護及び準要保護児童生徒の認定について」の説明を求める。 今回2件の申請があり、町の要件に合致していたことを報告する。 議案第4号について承認を求める。 承認する。</p>
<p>教育長 恒吉 教育長 各委員</p>	<p><b>【委員協議】</b> 「平成29年度教育委員会による学校訪問について」の説明を求める。 資料に基づき説明。 各委員の中で、提案した日程の都合が悪い方がいらっしゃれば、この場で確認したいがいかがか。 特になし。</p>
<p>教育長 戸高  今村一枝委員  教育長 今村一枝委員 教育長 今村博美委員  黒木委員  山田 教育長</p>	<p><b>【報告】</b> ①「平成29年度調整区利用者及び小規模特認校制度利用者（新規）について」の説明を求める。 資料に基づき説明。 三股西小学校区からの調整区を利用する児童が増えており、三股小学校区では、下新地区の子どもたちは、上新地区の子ども会に加入している。上新地区は子どもの数が減ってきており、下新地区の子どもたちの方が多い状況になっている。 三股西小学校区では、子ども会が成立していない。子ども会というよりも地区PTAとして活動しているのが実情である。 子ども会活動とPTA活動が明確化されていないのが問題であるとする。PTAは基本的には保護者の会である。子ども会は任意である。 地区PTAと子ども会の役員をそれぞれで行おうとすると、大勢の人が必要となる。 PTA活動が子どものための活動となっているのではないか。 小学校は特にPTAがないといろいろなことができないと思う。地区ごとで役員がいるはずであり、それぞれの役員任せにするのではなく、役員が中心となりながらも、全PTAが一緒に取り組もうとする風習があればよいのではないか。 PTA活動については、社会教育の中に含まれるはずである。社会教育委員でPTA活動のあり方等について話し合ってもらえるとよいのではないか。 教育委員会からの諮問により、検討することは可能であるとする。 教育委員会より社会教育委員へ諮問という方法がある。PTA活動と子ども会活動につ</p>

<p>屋敷委員 戸高 教育長</p>	<p>いて検討する必要がある。 小学校入学時に、保護者へ PR することが必要なのではないか。 就学時健康診断の際に、子ども会についての説明を保護者には行っている。 PTA 役員や子ども会役員等、役員自身も理解できていないことも考えられることから、トップから理解してもらう必要がある。</p>
<p>黒木委員 屋敷委員</p>	<p>小規模特認校制度を利用する理由等があれば教えてほしい。 子どもがスクールバスの話等を学校で聞いてきて、「行きたいなあ」と言ったのがきっかけである。また、双子ということもあり、比べられるということに気にしていることもあった。我が家よりも他の家庭では特にその点を気にしており、子ども自身が強く小規模特認校制度の利用を希望していた。</p>
<p>戸高   教育長</p>	<p>大規模校では、子どもも保護者もその数の多さに圧倒され、小規模特認校制度を利用したいと希望されている。反対に、オープンスクールを見学し、結果としては、利用希望に至らなかった家庭では、小規模特認校があまりにも穏やかであること、学校の雰囲気等はとても気に入っていたのだが、中学校のことを考えると、1校しかない中学校へ入学し、他の生徒にもまれる環境に入ることができるのか不安があり、小学校から大規模校で他の児童との関わりを学ばせたいという保護者もいた。</p>
<p>教育長</p>	<p>②「小・中学校卒業生の進路状況について」説明する。 平成28年度末の卒業生で特徴的なのは、県立・国立・私立中学校への進学者が非常に少ないということである。また、高等学校については、泉ヶ丘高等学校普通科への進学者が非常に少ない。泉ヶ丘高等学校の普通科の生徒の半分は三股中学校卒業生だと言われた時代がある。</p>
<p>今村博美委員 原田</p>	<p>③「生徒指導の状況について」説明を求める。 資料に基づき説明する。</p>
<p>教育長 渡具知</p>	<p>④「3月議会報告」について説明を求める。 就学援助について、新入学児童生徒学用品費があり、例年1学期末頃に支給している。これを早めることができないかとの質問があった。このことについては、国・県等の動向を確認しながら、状況に応じて対応しようと考えている。 また、「教育の情報化、ICT化とは何か」との質問があった。今年度、タブレットを導入し、研究を進めていくことを報告したところである。さらに、「パノラマまらその総括及び今後の展望について」の質問もあり、町のにぎわい創出や地域の活性化、文教三股の一端を担う大会になるよう取り組んでいくことを報告した。</p>
<p>教育長 屋敷委員</p>	<p>質問等を求める。 いじめの件数について。「いじめがない」ということは今の時代はないと思うが、昨年度秋頃には、計上件数が大幅に増加したことがあったが、これはどういうことか。</p>
<p>教育長</p>	<p>各学校で調査を行っており、調査方法等については、その時々によって違うことが理由とも考えられる。調査の仕方や児童生徒の些細な変化に対して教職員がアンテナを高く張り、注意深く見ていくよう校長会等でも話をしているところである。</p>
<p>教育長</p>	<p>【その他】 ①入学式について 教育委員が出席する学校について確認を行う。 ②教育委員会歓送迎会及び都城支会校長会歓迎会について 教育委員の出席について確認を行う。 ③卒業式の様子について</p>

今村一枝委員	各学校の出席者からの意見を求める。 宮村小学校に出席したが、宮村小学校は、標準服があり、全児童が着用していた。落ち着いた雰囲気の中で執り行われた。保護者からの謝辞については、教職員に対して述べられていた。
屋敷委員	三股西小学校に出席した。特に奇抜な服装の児童もおらず、落ち着いていた。謝辞についても、教職員向けに述べられていた。
今村博美委員	勝岡小学校に出席した。雰囲気はとても良かった。6年生は1クラスしかなかったが、堂々としていた。中学校の卒業式では、着席時に足を組む生徒がいた。来賓席から見える位置にいたため、とても気になった。
黒木委員	三股小学校に出席した。特に申し分なし。
渡具知	長田小学校に出席した。2人の卒業生だったが、地域の人たちも出席し、みんなで祝福している雰囲気だった。
教育長	梶山小学校に出席したが、式の時間がやや長く感じた。みんなで送り出したいという思いが強いのだろうが、寒かったこともあり長く感じた。謝辞については、教職員向けではあったものの、児童の成長ぶりを話す場面が見られた。中学校でも、子どもたちへ向けての言葉があった。しかし、総じてみると、各学校とも特に大きな問題等はなかったと判断してもよいのかと考える。
教育長 渡具知	<b>【行事予定】</b> 行事予定について説明を求める。 4月の行事予定について説明。
山田	○「子どもの明るい未来創造事業について」報告したい。 子どもの明るい未来創造事業を事例集としてまとめた。宮村小放課後子ども教室は、21名の参加があり、保護者からは、学習態度が身についた、学力向上につながったとの意見があった。また、放課後子ども教室で、しっかり宿題等を見てもらえるため、帰宅後に親子ともゆっくりと過ごすことができると好評だった。今年度は、梶山小学校、長田小学校、三股西小学校でもこの活動を広げていく予定である。 さらに、土曜学習については、年間9回実施し、25名の児童が参加した。これについても、好評であり、今年度も参加したいとの意見をもらっている。
	○次回定例会について 5月1日（月）13時30分から 中央公民館第3研修室  <b>【閉会】（15時40分）</b>

	教育長	教育委員
会議録署名者		